

第 2 章

平成 23 年度「観光ナガサキを支える“道守” 養成ユニット」実施報告

2.1 事業目的

観光立県を目指す長崎県には教会群等の観光資源が離半島に点在し、それらを結ぶ渡海橋や港湾等のインフラ構造物が多数存在する。県の財政状況は厳しく、建設事業費は削減され、維持管理費の増額も見込めない状況にある中、これらインフラ構造物の維持管理に関しては費用や人材の面で課題がある。長崎県と密接に連携を図り、県内の自治体職員、建設・コンサルタント業、NPO、地域住民を対象とし、“まちおこし”の基盤となる道路構造施設等のインフラ構造物の維持管理や再生・長寿命化に携わる各種技術レベルの“道守”（道守、特定道守、道守補、道守補助員）を養成し、観光立県の交通インフラ施設の維持管理に貢献するとともに、新たなインフラ維持管理の技術と産業を振興し、観光と産業の両面から地域再生と活性化を支援する。

2.2 地域再生人材創出構想の内容

県内の自治体職員、建設・コンサルタント業、NPO、地域住民を対象とし、道路構造施設の維持管理に携わる“道守”を養成し、“まちおこし”の基盤となるインフラ構造物の再生・長寿命化に係わる人材を創出することを目的としている。技術士、博士、診断士、土木施工管理技士等のレベルに応じた基礎知識、応用能力をもつ人材と、一般市民（ボランティア、愛護団体等）を対象として構造物の日常的な観察・点検ができる人材を養成する。インフラの維持管理には調査、診断、特定高度技術が必要であるため、講義、演習、実習等を組み合わせた総合的なコースを設置する。また、一般市民に対しては公開講座コースを設定する。本人材養成ユニットをインフラ長寿命化センターの任務として位置づけ、終了後も継続的に人材養成事業を実施展開する。これらを遂行することにより、観光振興及び新産業創出の両面から雇用創出と地域再生・活性化を支援する。

コース	レベル		対象者
道守補助員	講義レベル	市民講座	一般市民
道守補	到達レベル	土木施工管理技士	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体職員 ・地元自治体OB ・地元企業職員 ・地元企業OB など
特定道守		診断士	
道守		技術士・博士	



2.3 本事業の執行者

運営協議会		
委員長	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター センター長	松田 浩
副委員長	長崎県土木部 部長	村井 禎美
副委員長	(社)長崎県建設業協会 会長	谷村 隆三
委員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 副センター長	山下 敬彦
委員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 副センター長	中村 聖三
委員	(社)長崎県測量設計業協会 会長	藤瀬 政則
委員	(財)長崎県建設技術研究センター 理事長	中村 正
委員	長崎大学大学院工学研究科 研究企画推進委員会 委員長	蔣 宇静
委員	長崎大学大学院工学研究科 教授	多田 彰秀
委員	運営協議会幹事会 幹事長	森田 千尋

運営協議会幹事会		
幹事長	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター マネジメント戦略部門長	森田 千尋
副幹事長	長崎県土木部建設企画課 課長	田村 孝義
幹事	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 補修補強、材料・工法部門長	才本 明秀
幹事	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター モニタリング・健全度診断部門長	奥松 俊博
幹事	長崎県土木部道路維持課 課長	田崎 敏昭
幹事	(社)長崎県建設業協会 事業コーディネータ	松村 恵太郎
幹事	(社)長崎県測量設計業協会 技術副委員長	吉川 國夫
幹事	(財)長崎県建設研究センター 技術部長	松尾 善章

審査委員会		
委員長	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター センター長	松田 浩
副委員長	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 副センター長	山下 敬彦
副委員長	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 副センター長	中村 聖三
委 員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター モニタリング・健全度診断部門長	奥松 俊博
委 員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 補修補強、材料・工法部門長	才本 明秀
委 員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター マネジメント戦略部門長	森田 千尋

2.4 講義・実習担当の構成

「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」のプログラムの実施にあたり、本年度は「道守補助員」、「道守補」、「特定道守」、「道守」の4コースを設置している。プログラム4年目となる本年度は、平成22年度に引き続き4コース全てのプログラムを実施した。下表に各コースの担当教員を記す。

◆道守補助員コース

氏 名	役 職	所 属	担 当
松田 浩	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義・実習
森田 千尋	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義・実習
杉本 知史	助教	長崎大学大学院工学研究科	講義・実習
出水 享	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・実習、連絡 調整、教材の準備
渡部 祐介	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・実習、連絡 調整、教材の準備
牧野 高平	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・実習、連絡 調整、教材の準備

穂並 末光	係長	島原振興局 建設部 道路都市計画課	講義・実習 南島原地区
前田 逸朗	主任技師	田平土木維持管理事務所	講義・実習 平戸地区
横尾 利春	専門官	県央振興局 建設部 道路第一課	講義・実習 大村地区
森 光治	係長	大瀬戸土木維持管理事務所	講義・実習 西彼地区
吉川 國夫	平成 22 年度 特定道守	(有)吉川土木コンサルタント	講義・実習 南島原会場
副島 一郎	平成 21 年度 特定道守	副島塗装(株)	講義・実習 南島原・平戸会場
松尾 正人	平成 22 年度 特定道守	大栄開発(株)	講義・実習 南島原会場
川口 敦史	平成 22 年度 特定道守	扇精光(株)	講義・実習 大村会場
郡家 光徳	平成 21 年度 特定道守	(株)上滝	講義・実習 大村会場
山田 猛	平成 21 年度 道守	扇精光(株)	講義・実習 大村会場
川内野 俊治	平成 22 年度 特定道守	(株)大信技術開発	講義・実習 西彼会場
木原 真	平成 21 年度 特定道守	(株)アサヒコンサル	講義・実習 西彼会場
森 史朗	平成 22 年度 道守	(株)親和テクノ	講義・実習 西彼会場

◆道守補コース

氏 名	役 職	所 属	担 当
松田 浩	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
中村 聖三	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
森田 千尋	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義・実習
勝田 順一	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義

蔣 宇静	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
杉本 知史	助教	長崎大学大学院工学研究科	講義
森山 雅雄	准教授	長崎大学大学院工学研究科	演習
出水 享	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・演習・実習、 連絡調整、教材の 準備
渡部 祐介	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・演習・実習、 連絡調整、教材の 準備
牧野 高平	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・演習・実習、 連絡調整、教材の 準備
本田 保	課長補佐	長崎県土木部 道路維持課	講義 長崎県の道 路構造物の現状
末弘 義守	技能講習等 講師	建設業労働災害 防止協会長崎支部	講義 道路構造物 の維持管理に関 する安全管理
上阪 康雄	代表	コサカ設計・アソシエーツ	講義・演習・実習
安波 博道	部長	(財)土木研究センター	講義
阿部 允	代表取締役	(株)ピーエムシー	講義・実習
永石 浩紀		オリンパス(株)	演習

◆特定道守コース

氏 名	役 職	所 属	担 当
松田 浩	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
中村 聖三	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
森田 千尋	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義・演習

才本 明秀	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義・演習
勝田 順一	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義・演習
多田 彰秀	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
田邊 秀二	教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
森山 雅雄	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
宮川 英樹	准教授	長崎大学大学院工学研究科	講義
本村 文孝	准教授	長崎大学大学院工学研究科	演習
河野 和芳	技術職員	長崎大学大学院工学研究科	演習
出水 享	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	講義・演習、連絡 調整、教材の準備
渡部 祐介	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	演習、連絡調整、 教材の準備
牧野 高平	産学官連携 研究員	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	演習、連絡調整、 教材の準備
浦本 和儀	主任技師	長崎県長崎振興局 建設部 道路維持課	演習
高西 正人		長崎県長崎振興局 建設部 道路維持課	演習
上阪 康雄	代表	コサカ設計・アソシエーツ	講義・演習
安波 博道	部長	土木研究センター	講義・演習
阿部 允	代表取締役	(株)ビーエムシー	講義・演習
石田 耕生	課長	(株)さとうベネック	講義
杉田 哲郎		エスイーリペア (株)	講義
佐藤 秀文	次長	日本地研(株)技術部	講義

光谷 修平	副部長	大林道路(株) エンジニアリング部	講義
濱田 秀則	教授	九州大学 工学研究院 建設デザイン部門	講義
幸左 賢二	教授	九州工業大学	特別講演
福井 謙三	執行役員	基礎地盤コンサルタンツ(株)	実習
小川 能克	課長	基礎地盤コンサルタンツ(株)	実習

◆道守コース

氏 名	役 職	所 属	担 当
阿部 雅人	主幹研究員	(株) ビーエムシー	講義
高木 朗義	教授	岐阜大学 工学部 社会基盤工学科	講義
山根 誠一	課長	日本工営(株) 福岡支店	講義
中村 昌文	係長	長崎県土木部 道路維持課 維持補修班	演習

2.5 実施項目と役割分担実績

平成 23 年度は、“道守”養成の基となるカリキュラム・教材を開発しつつ、5 月から道守コース 2 名、特定道守コース 14 名（コンクリート構造：9 名、鋼構造：5 名）、道守補コース 35 名（前期：15 名、後期：20 名）、道守補助員コース 43 名の養成対象者を受け入れた。なお、後期の道守補コースは、DVD 教材を使用し、佐世保と対馬の 2 会場で講義を開講した。道守コース、特定道守コース、道守補コースは講義、演習、材料実験および点検実習、道守補助員コースは講義と現場実習を開講した。なお、離島や遠隔地の道守補助員コースの受講者に対しては現地に向いての出前講座を南島原、平戸、大村、西彼、長崎の 5 会場で実施した。各コースとも長崎県・長崎県建設業界の協力の下に地域と連携して行った。

- ①実施体制・環境の構築（インフラ長寿命化センター兼任・専任教職員、長崎県など）
非常勤講師を確保し、本年度使用する実習設備等を購入するとともに、次年度以降の

実習用設備導入の準備を行い、養成環境を整備した。さらに、県・建設業界の有識者が参加する運営協議会により、大学外部の意見を取り入れた運営を行った。

②カリキュラム・教材の開発（インフラ長寿命化センター兼任・非常勤・専任教職員）

鋼構造診断士、コンクリート診断士等の各種資格試験の教材と情報、橋梁点検の方法と指導法等の教材と情報を収集するとともに、各コースのカリキュラムと教材等を製作した。

③受講生の募集（インフラ長寿命化センター兼任・専任教職員、長崎県など）

道守コース、特定道守コース、道守補コースに関しては、ホームページやパンフレットを利用するとともに、長崎県や長崎県建設業界などの協力を得て広く受講生を募集した。道守補助員コースに関しては、ホームページやパンフレットの利用、長崎県および市町を通じての県内の道路ボランティア・愛護団体等への参加協力依頼、建設業界新聞および一般新聞への掲載、回覧板による募集チラシの回覧、長崎道守会議広報誌へ募集掲載を行った。

④講座・実習の実施（インフラ長寿命化センター兼任・非常勤・専任教職員、長崎県）

道守補助員コースでは、「長崎県の道路構造物の状況」、「コンクリート構造物、鋼構造物、トンネル・道路・斜面について」の講義および現場等における構造物の点検実習を長崎県内の5地域を対象に出前講座にて開講した。

道守補コースでは、「長崎県の道路構造物の現状」、「維持管理概論」、「斜面・トンネル・舗装の維持管理」、「コンクリート構造物点検」、「鋼構造物点検」等について講義・演習・現場実習を開講した。後期日程ではDVD教材を使用して画像視聴による講義を行った。

特定道守コースでは、コンクリート構造、鋼構造の2コースに分かれ、道守補コースのカリキュラムに加えて「計測モニタリング」、「プロジェクト演習」等の共通講座および各コース専門分野における「調査・診断、補修補強、計画・設計・施工」について講義・演習を開講した。

道守コースでは、特定道守コース（コンクリート構造・鋼構造、両コースとも）のカリキュラムに加えて「アセットマネジメント」、「道守総合演習」等の講義・演習の講座を開講した。

⑤報告会等の実施（インフラ長寿命化センター兼任・専任教職員、長崎県など）

年度末（3月）に、長崎県をはじめ長崎県建設業協会、長崎県測量設計業協会と連携して報告会等を開催し、取り組み内容を広く公開するとともに今後の事業内容の検討を行った。また、本年度は2月に全国から地域と連携して道路インフラ整備・維持管理を実施している機関を集めてのシンポジウムを開催した。

2.6 実施体制の反省点と次年度に向けての課題

○道守補助員コース

アンケート結果では、授業の時間、内容ともに「ちょうど良い」との意見が大半を占めており受講生からの評価は概ね良好であった。ただし、受講生個別には「講師の声が小さく聞き取りづらい」、「現場での説明を多くして欲しい」などの意見も見られたため、次年度以降これらの点については改善していくこととする。

平成 22 年度に引き続き、各所ポスターの掲示、募集チラシ配布、愛護団体等への参加協力依頼に加えてケーブルテレビでの CM 放送を行った結果、受講者の 7 割程度が建設業関係者以外の一般市民からの参加であった。

○道守補コース

講義の内容、時間数に関しては、受講生からは概ね良好な評価を得たが、後期で行った DVD 学習に関しては、DVD での授業形態そのものに対する指摘が見受けられた。これらについては、次年度以降 DVD 教材の見直し等の対応を検討することとする。なお、「スクリーンが見づらい」、「スピーカーの音が聞きづらい」等の意見に対しては、視聴機器の改善を行うこととする。現場実習については概ね評価は良好であったものの前期の受講生より「人数が多く点検しづらい」、「人数が多く講師の説明が聞こえない」等の意見が複数寄せられた。前期では修了生からも参加を募った結果、実習実施時の人数が受講生の倍程度（約 40 名）となったことがこれらの意見の原因であると考えられる。これに関しては、受講生と修了生の実施日を分けるなどの対応を検討することとする。

○特定道守コース

本コースで実施するプロジェクト演習は前年度に引き続きワークショップ形式で実施した。アンケートでも本演習に関しては、「実務に取り入れたい」、「社内の会議方法として採用中」等の意見もあり非常に高い評価であった。また、7 割以上の受講生が同様の講義が今後あれば参加したいとの意見であった。ただし、一部に講義の進捗が早いとの意見も聞かれたため、次年度は演習の進捗速度、時間配分について検討することとする。

○道守コース

講義全体を通しての評価は概ね良好であった。受講生 2 名は両者ともに道守補コース、特定道守コース、そして今回の道守コースと継続的に受講されており長期間にわたり本事業と携わられている。そのため、今後の事業の継続、展開や認定者と大学および関係各機関との関わり方やについて数多くの意見があった。最終年度となる次年度は事業継続、展開についての検討にこれらの意見を参考にすることとする。

2.7 各地区の認定者数



認定者合計 269 名

コース別(2008～2011)

道守	7 名
特定道守	30 名
道守補	93 名
道守補助員	139 名

地区別(2008～2011)

長崎(84)	長崎市	80 名	道守 5 名 特定道守 15 名 道守補 41 名 道守補助員 23 名
	西彼杵郡	4 名	
県北(44)	佐世保市	34 名	道守 1 名 特定道守 5 名 道守補 16 名 道守補助員 22 名
	東彼杵郡	3 名	
	北松浦郡	7 名	

田平土木(19)	平戸市	13 名	特定道守 1 名
	松浦市	6 名	道守補 2 名 道守補助員 16 名
大瀬戸(15)	西海市	15 名	道守 1 名 特定道守 2 名 道守補 2 名 道守補助員 10 名
島原(23)	島原市	5 名	道守補 3 名 道守補助員 20 名
	雲仙市	6 名	
	南島原市	12 名	
県央(31)	諫早市	20 名	特定道守 6 名
	大村市	11 名	道守補 11 名 道守補助員 14 名
五島(24)	五島市	17 名	特定道守 1 名
	新上五島町	7 名	道守補 10 名 道守補助員 13 名
対馬(16)	対馬市	16 名	道守補 6 名 道守補助員 10 名
壱岐(9)	壱岐市	9 名	道守補 1 名 道守補助員 8 名
その他(4)	その他	4 名	道守補 2 名 道守補助員 2 名

2.8 シンポジウムについて

平成 24 年 2 月 10 日に地域の道路インフラを考える」、3 月 9 日に「日本を元気に！熱血土木談義」をテーマに、2 回にわたりシンポジウムを開催した。シンポジウムには、道守受講者、長崎県内の自治体職員、建設業及びコンサルタント関係者、講師、大学関係者等多数の参加があった。

長崎新聞文化ホールで開催したシンポジウム「地域の道路インフラを考える」では、長崎大学の片峰学長より開会の挨拶があり、続いて長崎県土木部長の村井様より挨拶があった。シンポジウム前半の基調講演では独立行政法人科学技術振興機構の清水了典様より『地域再生人材創出拠点の形成～「道守」養成ユニットの成果と継続～』をテーマにご講演され、特別講演では独立行政法人土木研究所構造物メンテナンス研究センターの桑原徹郎様より『橋梁メンテナンスにおける課題と取組み』、香川高等専門学校建設環境工学科の太田貞次先生より『香川県内市町が管理する橋の現況報告と長寿命化対策』

と題してご講演していただいた。後半の話題提供では各地地域の事例として、長野県下條村の事例を下條村村長の伊藤喜平様、福島県の事例を日本大学土木工学科の岩城一郎先生、長崎県の事例を長崎県土木部道路維持課長の田崎敏昭様、国の事例を国土交通省道路保全企画官の末吉秀幸様より話題提供が行われた。

その後前半の基調講演、特別講演でご講演いただいた3名の方と話題提供をいただいた4名の方とモデリストの松田浩教授(センター長)とのパネルディスカッションでは、地域の道路インフラの維持管理についての思いや考えを熱く討論していただいた。

次に長崎大学中部講堂で開催したシンポジウム「日本を元気に！熱血土木談義」では、山下副学長の開会の挨拶のあいさつに引き続き、平成23年度“道守”養成ユニットの実施報告が行われた。実施報告では、インフラ長寿命化センターの森田千尋准教授より、平成23年度までの各コースにおける養成状況、道守認定者の主な活動や成果について報告があり、今後も“道守”の継続に検討していきたいと話された。

特別講演では、国土交通省九州地方整備局企画部の栗野修司様が『「活力ある九州」の実現に向けた社会資本整備』。京都大学大学院の藤井聡先生が『公共事業が日本を救う～今こそ「レジリエンス」あるくにづくりを』と題しご講演いただいた。藤井教授は講演の中で、「近い将来に発生が予想される巨大地震に耐えうるよう日本を強靱(きょうじん)化するためには、東海地震を想定し東西交流を促進するためのインフラ整備を進めるとともに、首都圏と太平洋ベルトの都市機能およびGDPを日本海側や九州、北海道に分散移転させるべき。そのためには新幹線を中心とした都市間をつなぐ高速交通インフラの整備が極めて効果的であり、長崎や高速交通体系が未整備の東九州地域への新幹線の整備も必要。」と話された。

パネルディスカッションでは、横浜国立大学大学院の細田暁先生が『コンクリート構造物の品質確保・性能確保を通じたポジティブスパイラルシステムの構築』、徳山工業高等専門学校の前田隆弘先生が『「たかがひび割れ、されどひび割れ」コンクリートのひび割れが教えてくれること山口県のひび割れの抑制システムづくりから』と題して、山口県における産学官の協働によるコンクリートのひび割れ抑制対策の取組みについて話題提供され、より耐久性のあるインフラ整備が、豊で元気な社会につながると話し、「何が大切か分かって施工することが大事」との考えを示された。

その後、長崎大学の茅田彰秀教授をモデリストとして、講演者と話題提供の4名に、(社)長崎県建設業協会の谷村隆三会長と松田浩センター長を加えてパネルディスカッションが行われた。栗野修司様は、東日本大震災の応急復旧における『くしの歯作戦』では、「建設業関係者が、最初に瓦礫撤去や作戦決行への道路補強などを行った。自衛隊が最初ではない。手つかずの所に、道筋をつけたのは建設関係者であり、高速道路網の整備により、啓開を行うことができた」などとインフラ整備が早期復旧への一助となったことも報告された。谷村会長は、1月に長崎県建設業協会主催で開かれた講演会について紹介後、「一般からの参加を狙ったもの。全ての産業は土木に通ずる、建設業以外の分野の人々も巻き込んで相互理解の上で投資の優先順位を考えることが世論の醸成につながる」などと熱く討論された。

2.9 広報活動

道守養成ユニットについて多くの講演依頼、新聞社からの取材があった。以下にその内容を示す。

・講演について

開催日	講演会名	内容
平成 23 年 4 月 21 日	JCI 九州支部総会（福岡市）	話題提供
平成 23 年 6 月 7 日	長崎県土木施工管理技士会（長崎市）	話題提供
平成 23 年 8 月 1 日	国土交通省九州地方整備局（鹿児島市）	話題提供
平成 23 年 8 月 2 日	西日本高校土木教育研究会（佐世保市）	話題提供
平成 23 年 8 月 5 日	横浜国大安心・安全の科学研究教育センター（長崎大学）	話題提供
平成 23 年 8 月 12 日	高校生公開講座（長崎大学）	話題提供
平成 23 年 9 月 1 日 ～9 月 3 日	地域再生人材大学サミット in 能登 第 9 回地域再生プログラム連絡会議（石川県）	パネル展示
平成 23 年 9 月 15 日	大分県コンクリート診断士会（大分市）	話題提供
平成 23 年 9 月 16 日	西日本橋梁ネットワーク（長崎大学）	話題提供
平成 23 年 10 月 6 日	日本建設業連合会（長崎大学）	話題提供
平成 23 年 10 月 27 日	長崎県研修（NERC）	話題提供
平成 23 年 11 月 18 日	山口大学 「山口県の橋梁を考える」	基調講演
平成 23 年 11 月 20 日	JCI 中部支部（名古屋大学）	話題提供
平成 23 年 11 月 21 日	長崎県市町道路担当者会議（長崎市）	話題提供
平成 24 年 1 月 25 日	先端科学技術シンポジウム（関西大学）	話題提供
平成 24 年 2 月 16 日	「インフラ・イノベーション」研究会（東京都）	話題提供
平成 24 年 2 月 23 日	全日本建設技術協会（長崎市）	話題提供

・記事について

平成 23 年 5 月 1 日	橋梁新聞
平成 23 年 8 月 19 日	日経コンストラクション
平成 24 年 2 月 11 日	橋梁新聞
平成 24 年 2 月 16 日	C-net 通信
平成 24 年 2 月 19 日	橋梁新聞
平成 24 年 3 月 13 日	日刊建設工業新聞
平成 24 年 3 月 15 日	C-net 通信
平成 24 年 4 月 2 日	岐阜新聞 ほか 30 数社

付録資料

ページ

資料 2-1 シンポジウムパンフレット

2-16

資料 2-2 新聞記事

2-18

平成 24 年 2 月 10 日シンポジウム



シンポジウム

地域の 道路インフラを考える

長崎大学は長崎県と共同で文部科学省・科学技術戦略推進費・地域再生人材創出拠点形成事業「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」を実施して参りました。“道守”活動の一貫として道路インフラについて県官・学民が共に考えるシンポジウムを開催します。国県市町村の各地域の道路インフラの現状を広く認識してもらうとともに、地域と連携した道路インフラ整備・維持管理の実施事例を紹介し、地域の道路インフラを支える“道守”活動について共に考えます。

会場 長崎新聞文化ホールアストピア
2F大ホール(長崎市茂里町3-1)

対象 一般市民、建設・設計業関係者、国・自治体職員、学生

基調講演 独立行政法人 科学技術振興機構
科学技術システム改革事業プログラム主管 清水 了典 様

特別講演 講演1 『橋梁メンテナンスにおける課題と取り組み』
独立行政法人土木研究所構造物メンテナンス研究所
橋梁構造研究グループ長 桑原 徹郎 様
(長崎県土木部長)

講演2 『香川県内市町が管理する橋の現状報告と長寿命化対策』
独立行政法人国立高等専門学校機構 香川高等専門学校
建設環境工学科 教授 太田 貞次 様

話題提供 長野県下條村長 伊藤 喜平 様
日本大学 工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 様
長崎県 土木部 道路維持課長 田崎 敏昭 様
国土交通省九州地方整備局 道路保全企画官 末吉 秀幸 様

平成24年
2月10日(金)
13:00~17:40
要 入 場 料
先着200名

本シンポジウムはCPDS
プログラム(4ユニット)
として認定されます。

主催：長崎大学

共催：長崎県、(財)長崎県建設技術研究センター、(社)長崎県建設業協会、(社)長崎県測量設計業協会、長崎県土木施工管理技士会、
国土交通省九州地方整備局／長崎河川国道事務所／(社)九州建設弘済会、(公社)土木学会、(社)日本コンクリート工学会、
(社)日本鋼構造協会、(社)九州建築・構造工学研究会

本シンポジウムは、文部科学省科学技術戦略推進費の補助により実施しています。

問い合わせ先

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿化センター
〒852-8521 長崎県長崎市文蔵町1-14 FAX: 095-819-2879
URL: <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori/>

TEL: 095-819-2880
Mail: ilemjimu@ml.nagasaki-u.ac.jp

平成 24 年 3 月 9 日シンポジウム



文部科学省 科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成
長崎大学「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」

シンポジウム

日本を元気に！ 熱血土木談義

**CPD認定
プログラム**
(社)全国土木施工管理技士会連合会
(社)建設コンサルタンツ協会
(公社)土木学会

※本シンポジウムは土木施工管理技士会CPDSプログラム、建設コンサルタンツ協会CPD、土木学会のCPDに認定されています。

長崎大学は長崎県と協働で文部科学省・科学技術戦略推進費・地域再生人材創出拠点形成事業「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」(平成20～24年度)を実施して参りました。このプロジェクトは、産学官民が連携して重要な社会資本である道路インフラの維持管理を行える人材(道守)の養成およびそれに関する技術の習得を通して、地域の再生・活性化を目的としたものです。本シンポジウムでは、平成23年度の“道守”養成事業の実施報告を行いますとともに、わが国の社会基盤を支える土木事業の重要性、将来像、方向性、ならびに、土木事業が地域に果たす役割について考えるシンポジウムを開催します。

会場 長崎大学文教キャンパス中部講堂
(長崎市文教町1-14)

対象 一般市民、建設・設計業関係者、国・自治体職員、学生

特別講演

『「活力ある九州」の実現に向けた社会資本整備』
国土交通省 九州地方整備局 企画部 技術調整管理官 栗野 修司 様

『公共事業が日本を救う～今こそ、「レジリエンス」ある国づくりを～』
京都大学 大学院 都市社会工学専攻 教授 藤井 聡 様

話題提供

横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 准教授 細田 暁 様

徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 教授 田村 隆弘 様

主催：長崎大学
共催：長崎県 (財)長崎県建設技術研究センター
(社)長崎県建設業協会 (社)長崎県測量設計業協会
長崎県土木施工管理技士会
長崎河川国道事務所
(社)建設コンサルタンツ協会 九州支部
(公社)日本コンクリート工学会
(社)日本鋼構造協会
(社)九州橋梁・構造工学研究会
(社)九州建設弘済会
後援：(公社)土木学会、九州地方整備局

**平成24年
3月9日(金)
13:00～17:50
300名
聴講無料**

問い合わせ先
長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿化センター
〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 FAX：095-819-2879
URL：http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori/
TEL：095-819-2880
Mail:ilemjimu@ml.nagasaki-u.ac.jp